

平成30(2018)年度における第7次総合計画の進捗状況について(報告)

1. 結論

第7次総合計画では、施策の単位ごとに評価シートを作成して進行管理を行います。平成 30(2018)年度の総合計画事業を取りまとめましたので報告します。

2. 庁内評価

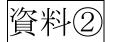
(1) 成果指標ごとの判別

					顶	女策の権	È		
			①安心して子育て	②健康で元気	③にぎわいと活力	④安全・安心で快適	合い学び合う ⑤市民が互いに助け	⑥政策を実行・実現	合計
階 標 施	ア	想定を大きく上回る成果 ↑	0	0	0	0	0	0	0
でを策	イ	想定を上回る成果 1	3	6	4	10	1	4	28
で評価を設定	ウ	想定通りの成果 →	8	6	16	24	7	4	65
伸定に	エ	想定を下回る成果 \	3	1	3	7	3	1	18
し成五果	才	想定を大きく下回る成果 ↓	0	0	0	0	0	0	0
段指		合計	14	13	23	41	11	9	111 (**3)

- ※1 第7次総合計画の施策は40本だが、一つの施策に複数の成果指標が設定してある
- ※2 評価ア〜ウは、成果指標ごとに定めた目標値(令和元 (2019) 年度達成)に対し、実績値が順調に推移していることを 示す
- ※3 成果指標5項目の実績値については、現在集計中のため除く
 - (2) 成果指標のうち、「想定を下回る成果」となった事業 ※裏面のとおり

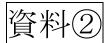
(3) 基本計画事業ごとの判別

価に基	完了	2	2	1	5	0	0	10
進本	計画より進んでいる	1	0	2	2	1	0	6
渉計 画 毎	計画通り	38	19	26	54	16	14	167
	計画より遅れている	0	0	0	0	0	0	0
	合計	41	21	29	61	17	14	183



「2.(2)」「想定を下回る成果」となった事業

番号	施策No.	成果指標	担当課	目標値 (R1)	基準値		実績値	分析と今後の対応		
1	102	幼稚園や保育園の保育サ	フルナ士極調	0.00 =	0.10 占	H28	0.04 点	3 歳未満児の保育の受け皿の拡大により前回から上昇推		
1	1 102	ービス〔市民意識調査〕	子ども支援課	0.20 点	0.13 点	H30	0.10 点	移。保育料無償化等、今後の社会情勢や保育ニーズに じた対応が必要。		
				_	_	H29	184,738 人	たじっこクラブ利用者数の増加、児童数の減少等が要因		
2	103	児童館の利用者数	子ども支援課	194,695 人	194,695 人	Н30	180,932 人	と推測。たじっこクラブ利用者数の増加はプラス要因であり、現状維持に努める。		
3	105	小・中学校における教育 環境〔市民意識調査〕	教育総務課	0.10 点	0.00 点	H28	▲0.10 点	従来の方針を転換し、「災害級の高気温に対応するため、 速やかに保育園、幼稚園、小・中学校に空調機を整備す		
	100					Н30	▲0.48 点	る」ことを第7次総合計画の新規基本計画事業として位置づけ。全小中学校において、空調機整備完了予定。		
4	905	バリアフリー適合証交付 施設数	福祉課	10件(うち1件 は優良認定)	5 件	H29	5(うち1件は 優良認定)	バリアフリー適合証について、事業者の認識が十分でな		
4	205					Н30	5(うち1件は 優良認定)	く、事業者にとって、バリアフリー適合証の認定を受けるメリットがない。交付条件、目標値の見直しが必要。		
	5 305	観光入込客数	産業観光課	1,500,000 人	1,448,672 人	H29	1,471,410 人			
5							1,380,782 人	現在集計中だが、速報値では目標を下回る。引き続き観 光施策を実施する。		
						H30	(速報値)	九旭水で天旭する。		
	6 305	観光PR〔市民意識調査〕	産業観光課	0.00 点	▲0.27 点	H28	▲0.34 点	「半分、青い」の影響から、他市町村のPR事業がより一		
6						H30	▲0.36 点	層注目されたためと推測。市外からの体験型事業や広域 観光等を引き続き実施する。		
		シルバー人材センター登	人声吐公钿			H29	351 人	定年延長、再雇用等によって、企業等で就業する機会が		
7	307	録者数	企画防災課 (高齢福祉課)	510 人	人 366 人 出30		360 人	増えたため、シルバー人材センター登録者数が減少す も、現状維持傾向。引き続きシルバー人材センターと 連携を実施。		
	8 401	救命率の向上	消防総務課	30.0%	20.0%	H29	18.6%	救急患者の高齢化に伴い、救命率が低下。発見時のバイスタンダーCPRの実施率は上がっているが、目撃のない		
8						Н30	2.60%	心拍停止者の割合が高い。救命率の向上のために、救急 講習、口頭指導を継続実施する。		
0	40 <i>G</i>	自然公園来園者数	緑化公園課	34,000 人	30,498 人	H29	28,895 人	来園者数は3万人弱で微減しているが、来園者の増加に		
9	9 406					Н30	27,628 人	つながるよう PR を実施。今年度から潮見の森のトイレの 水洗化事業などの施設整備を実施。		



10	10 406	緑化の推進 [市民意識調 査]	緑化公園課	0.02 点	▲0.16 点	H28	▲0.1 点	団体支援による緑化推進を実施。今後は市民参加による		
10						H30	▲0.23 点	市街地緑化の推進を促進する。		
11		社会動態(転入-転出)	4200 人/年		▲385 人/年	H29	▲390 人/年	転入者数、転出者数に大きな変動はなく、現在の異動作		
11	411	による人口増減数	移住定住		2 000 / (1	H30	▲362 人/年	向が継続。住宅事情による転入者は減少(転出者も減少)。		
12	711	「住宅事情」による転入	推進室	250 人/年	165 人/年	H29	149 人/年	移住支援施策の拡充、現行の支援制度の PR、金融機関		
12		者数の増加				H30	94 人/年	不動産事業者との連携など、移住者支援を実施。		
13		渋滞解消のための道路整 備〔市民意識調査〕	- 道路河川課	▲0.70 点	▲0.90 点	H28	▲1.12 点	事業実施途中につき、全ての道路においては渋滞解消		
15	413					Н30	▲1.24 点	至る成果が得られていない。引き続き迅速な道路整備業を推進。		
14	413	簡易な補修や清掃などの道 路の維持管理〔市民意識調 査〕	延斯門/川林	▲0.20 点	▲0.30 点	H28	▲0.45 点	道路の他に側溝等細かい箇所の補修・清掃が市民満足に		
14						Н30	▲0.48 点	至っていない。引き続き迅速な維持管理事業を推進。		
15		人権意識〔市民意識調査〕		0.00 点	▲0.07 点	H28	0.04 点	人権に関する研修をより効果的なものとするために、		
10	15					H30	▲0.17 点	講者が身近に感じられる内容での実施を検討。		
16	503	子どもの権利に関する意 識 [市民意識調査]	くらし人権課	0.10 点	0.01 点	H28	0.06 点	「子どもの権利」について、おとなにも関心を持って		
10	10 303					H30	▲0.01 点	らえるようなPR、セミナー、研修の実施を検討。		
17	17	男女平等意識〔市民意識調査〕		0.00 点	▲0.14 点	H28	▲0.06 点	男女共同参画が身近なものと結び付けられるような講座		
11						Н30	▲0.22 点	やセミナー等を検討し、PRする。		
10	18 605	広報たじみを毎回読む人 の割合 [市民意識調査]	秘書広報課	61.9%	59.8%	H28	55.2%	広報手段の中では最もポイントが高いが、徐々に減少している。引き続き写真やイラストを多用した視覚に訴え		
10						H30	54.8%	るより読みやすい紙面構成を実施。		